

はじめまして、よろしくね

千両小・3 安藤 羽希

「こんにちは、はじめまして。お姉ちゃんだよ。」

わたしはお姉ちゃんになりました。はじめて見た弟は、とてもかわいかったです。

きよ年のクリスマスに、お母さんから手紙のプレゼントをもらいました。その手紙には、【ママのおなかには赤ちゃんがいます】と書いてありました。わたしは、さいしょ、よくわからなくてお母さんに聞いてみると、

「もうすぐ、お姉ちゃんになるよ。」

と言われて、びっくりしてどきどきしてうれしかったです。

お母さんのおなかは、ぜんぜん大きくなくて、どこに赤ちゃんがいるのかふしぎでした。お父さんに赤ちゃんのエコー動画をみせてもらうと、うにようによと動いていて、本当にいるんだなと思いました。

わたしが二年生の時に、「いのちのじゅぎょう」という勉強をしました。赤ちゃんがどうやって大きくなって、お母さんは赤ちゃんのために、どういう物を食べた方がいいかなどを勉強するじゅぎょうでした。わたしはその時に習ったことを思い出してお母さんに教えてあげました。そして、お母さんはこれから大へんなので、いっぱいお手つだいをしてあげようと思いました。

お母さんから、

「赤ちゃんは男の子と女の子と、どっちがいい？」

と聞かれて、わたしはいっしょにいろんなことをして遊びたいので、女の子がいいな思っていたら、お母さんがケーキを持ってきて

「ケーキの中がマスカットだったら男の子、いちごだったら女の子だよ。」

と言われて、ドキドキしながらケーキを切ったらマスカットでした。わたしはちよつとぎんねんでした。お父さんは、いっしょに野球ができるよ、すぐくよろこんでいました。

お母さんのおなかはどんどん大きくなって、

「おなかの中でもちゃんと聞こえているからいっばいお話ししてね。」と言われたので、毎日おなかの赤ちゃんにお話しました。わたしがおしゃべりすると、おなか動いてとてもふしぎでした。さわってみるとかたくて、ぼこつとふくらんでびっくりしました。お母さんは、

「けられていたい。」

と言っていました。

予定日が近づいて来た時、朝起きたらおばあちゃんが来ていて、お母さんとお父さんが病院に行ったことを知りました。早く生まれてほしいな思いました。

お父さんから電話が来て、赤ちゃんが生まれたと聞いて、とてもうれしかったし、早く会いたくなりました。

赤ちゃんとお母さんがたい院して家に帰って来ました。はじめ見た赤ちゃんは、足や手がとてもちっちゃくて、ふにやふにやしていました。思っていたよりなき声が大きくてびっくりしました。はじめでだっこする時、首がぐらんとするのがこわくてどきどきしま

した。

赤ちゃんにおっぱいをあげたり、おむつをかえてあげたり、いっぱいだっこをしてあげなくてはいけなくて、お母さんが赤ちゃんにつきつきりで、わたしはちよつときみしくなつてなみだが出ました。でも、お母さんにいっぱい話を聞いてもらつて、ちよつと元気になりました。

赤ちゃんが来て、二か月がたちました。いっぱいだっこしてあげたから、だっこが上手になつてきました。ないてばかりだった赤ちゃんだけど、話しかけたり、あやしたりしたらわらつてくれるようになつて、赤ちゃんはとってもかわいいです。次はおむつがえができるようになつて、お母さんのお手つだいをいっぱいしたいです。

これからいっぱいいっしょに遊ぼうね。勉強も教えてあげるからね。ようこそ赤ちゃん。これからよろしくね。